

新規結果セットの作成方法

既存の結果セットから別の結果セットを組み合わせて、新規結果セットとして再作成する

活用例

- ✓ 既に、標準試料のみで測定した結果セットに、未知試料のみで測定した結果セットのデータを組み合わせて、一つの結果セットとして再解析したい場合。
- ✓ シーケンスの先頭に、ブランクを後から追加したい場合。

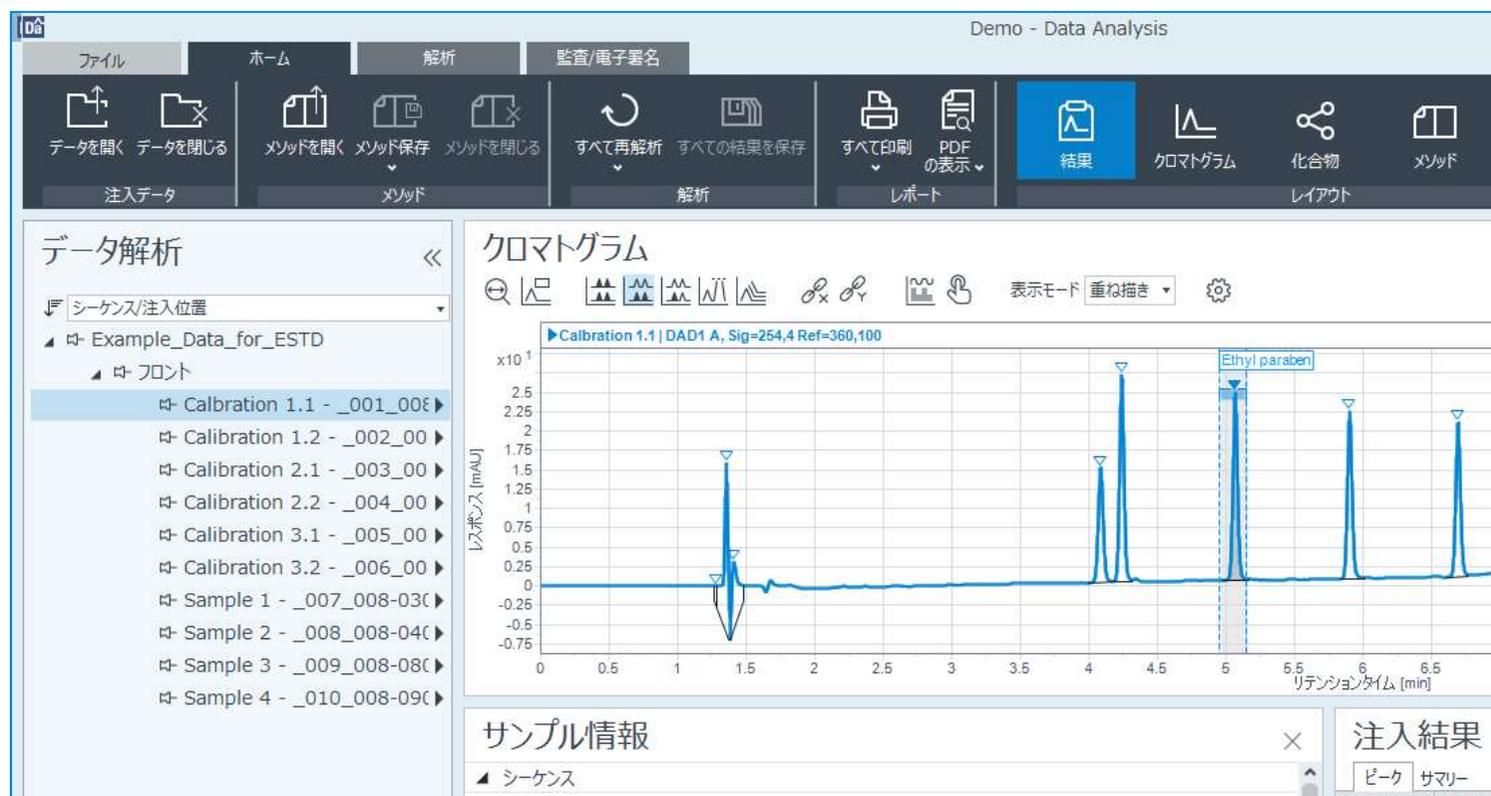
※データを組み合わせることが、査察時の検討対象になる場合があります。お客様の用途、運用ポリシーに沿ってご利用下さい。

新規結果セットの作成方法

既存の結果セットから別の結果セットを組み合わせて、新規結果セットとして再作成する

手順1

OpenLab CDS 2 でData Analysisを起動して、該当する結果セットを読み込みます

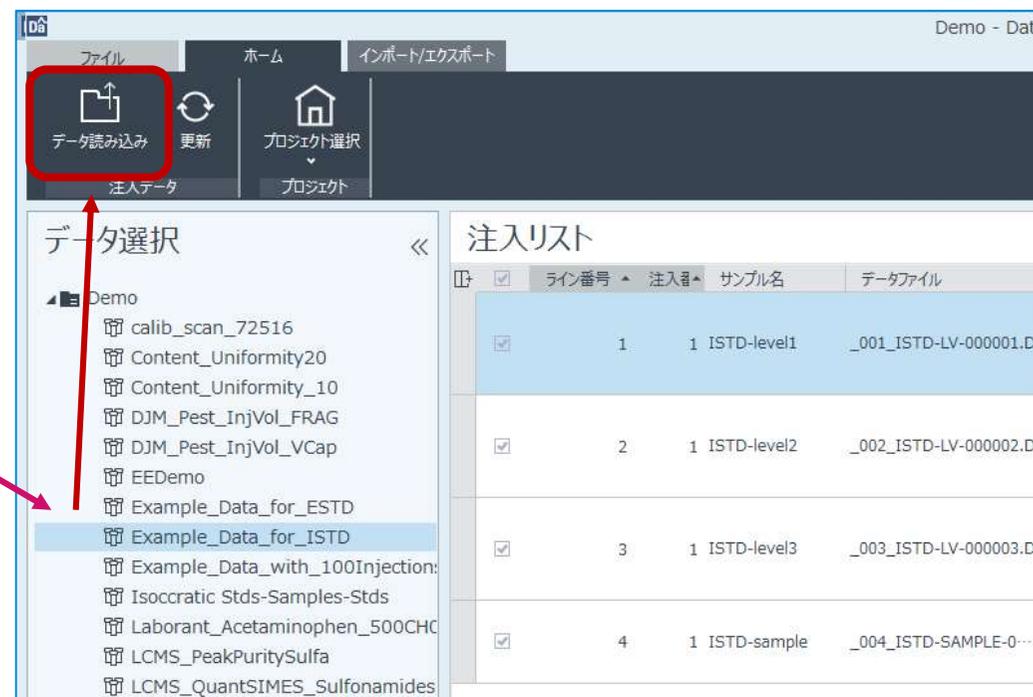
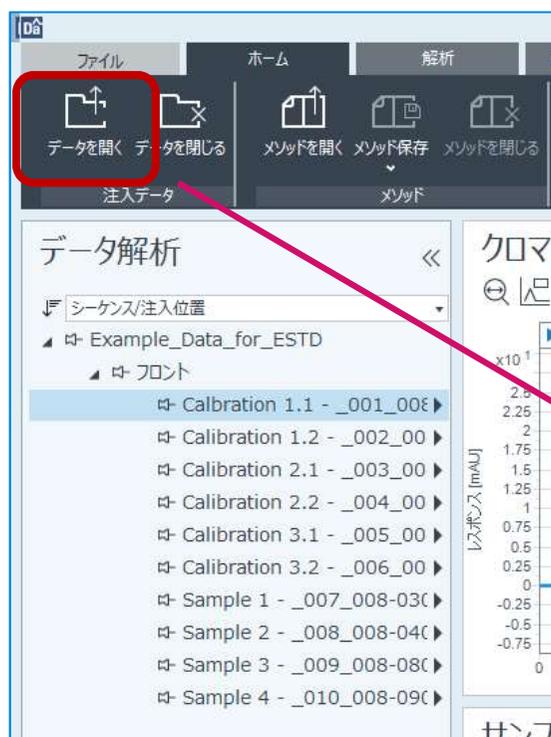


新規結果セットの作成方法

既存の結果セットから別の結果セットを組み合わせて、新規結果セットとして再作成する

手順2

別の結果セットからもデータを組み合わせる場合は、同様に結果セットを読み込みます



新規結果セットの作成方法

既存の結果セットから別の結果セットを組み合わせて、新規結果セットとして再作成する

手順3

データ解析画面で、Shift/Ctlキーを押しながら、組み合わせたいデータを選択します

The screenshot displays the 'データ解析' (Data Analysis) interface. On the left, a tree view under 'シーケンス/注入位置' (Sequence/Injection Position) shows a folder 'Example_Data_for_ESTD' containing a sub-folder 'フロント' (Front) with several calibration and sample entries. 'Sample 3 - _009_008-08C' is highlighted. Below it is another folder 'Example_Data_for_ISTD' with a sub-folder 'フロント' (Front) containing ISTD-level and sample entries. On the right, the 'クロマトグラム' (Chromatogram) plot shows 'レスポンス [mAU]' (Response [mAU]) on the y-axis (scaled by $\times 10^1$) and time on the x-axis (0 to 0.5). A single peak is visible at approximately 0.1 minutes. Below the plot is the 'サンプル情報' (Sample Information) panel, which includes fields for '名前' (Name), '情報' (Information), '作成日 (yyyy-MM-dd)' (Creation Date), and '作成者' (Creator).

新規結果セットの作成方法

既存の結果セットから別の結果セットを組み合わせて、新規結果セットとして再作成する

手順4

該当データを右クリックして、「選択した注入データを新規結果セットに追加」を実行します

The image shows two screenshots of the software interface. The left screenshot shows a tree view of data sets under 'データ解析'. A context menu is open over 'Sample 3 - _009_008-08C'. The menu item '選択した注入データを新規結果セットに追加' is highlighted with a red box. The right screenshot shows the same tree view after the action, with 'Sample 3 - _009_008-08C' now added to the 'Example_Data_for_ESTD' set. A red arrow points from the left screenshot to the right screenshot.

新規結果セットの作成方法

既存の結果セットから別の結果セットを組み合わせて、新規結果セットとして再作成する

手順5

データ解析画面で、「解析」タブに切り替えて、「新規結果セットの作成」ボタンを実行します

The screenshot displays the 'Demo - Data Analysis' window. The 'Analysis' tab is highlighted with a red box. A yellow arrow points from this tab to the 'New Result Set Creation' button, which is also highlighted with a red box. The main display area shows a chromatogram with several peaks labeled, including 'Ethyl paraben' and 'Heptyl paraben'. The x-axis is 'Retention Time [min]' and the y-axis is 'Response [mAU]'.

新規結果セットの作成方法

既存の結果セットから別の結果セットを組み合わせて、新規結果セットとして再作成する

手順6

新規結果セットの作成 画面が表示されます

新規結果セットの作成

選択データ

#	名前	データファイル	サンプルタイプ	レベル
1	Calibration 1.1	_001_008-0101.D	キャリブレーション	1
2	Calibration 1.2	_002_008-0201.D	キャリブレーション	1
3	Calibration 2.1	_003_008-0501.D	キャリブレーション	2
4	Calibration 2.2	_004_008-0701.D	キャリブレーション	2
5	Calibration 3.1	_005_008-1001.D	キャリブレーション	3
6	Calibration 3.2	_006_008-1101.D	キャリブレーション	3
7	Sample 3	_009_008-0801.D	サンプル	
8	Sample 4	_010_008-0901.D	サンプル	
9	ISTD-level1	_001_ISTD-LV-000001...	キャリブレーション	1
10	ISTD-sample	_004_ISTD-SAMPLE-0...	サンプル	

解析メソッド: C:\CDSP\Projects\Demo\Methods\ESTD.pmx 参照...

新規結果セット: C:\CDSP\Projects\Demo\Results\New ResultSet 2 参照...

作成 キャンセル

- A) 選択データの一覧で、データを選択して、上下矢印のボタンで並びを変更します。
- B) Xボタンで不要なデータを削除します。
- C) 解析メソッド欄で、参照ボタンを実行して、あらかじめ既存の解析メソッドを指定出来ます。
- D) 新規結果セット欄で、結果セットの名前を決定します。
- E) 作成ボタンの実行で、編集した内容の結果セットが新規に作成されます。

新規結果セットの作成方法

既存の結果セットから別の結果セットを組み合わせて、新規結果セットとして再作成する

手順7

作成ボタンの実行で、編集した内容の結果セットが新規に作成されます

データ解析

シーケンス/注入位置

- Example_Data_for_ESTD
- Example_Data_for_ISTD
- テスト結果セット-1
 - フロント
 - ISTD-level1 - _001_IS
 - Calbration 1.1 - _001_
 - Calibration 1.2 - _002
 - Calibration 2.1 - _003
 - Calibration 2.2 - _004
 - Calibration 3.1 - _005
 - Calibration 3.2 - _006
 - ISTD-sample - _004_1
 - Sample 3 - _009_008
 - Sample 4 - _010_008

クロマトグラム

Calibration 3.2 | DAD1 A, Sig

レスポンス [mAU]

サンプル情報

シーケンス

名前

新規結果セットの作成方法

既存の結果セットから別の結果セットを組み合わせて、新規結果セットとして再作成する